

連載シリーズ

こんにちは市長です
No. 8



なかなか大洲も
捨てたモンじゃあないぞ!

大洲城本丸で146年振りに坂本龍馬と「おりよう」のお二人に大洲藩を背負って再会するという何ともドラマチックな設定。

内容は、あのいろは丸の補償金の話だけに「ノドから手が出るくらい龍馬に要求したかった……」正直言つて、アドリブでなく本音で。

龍馬本人も「このことがずっと気になっており、死んでも成仏できないんだ。あの脱藩の折には大洲の人には良くしてもらったのに……」と本音で思っていたはず。

ここで時の氏神、奥村奉行（県観光協会会長）の調停案でよりを戻すことにして両者手を握り、この問題に決着をつけた。

これがこの日の寸劇のあらすじ。

わずか15分のショーでしたが、参加者の明るい笑い声と共に桜がチラホラ咲きはじめ、日本晴れの真っ青な空と真白な城をバックに素晴らしい新大洲市観光協会スタートの協賛事業として印象に残ったのではないで

しょうか。

このことの諸準備にあたってもらった、あさもやの河野専務を始め、スタッフの皆さん本当にお疲れ様でした。そして私は改めて思いました。「なかなか大洲も捨てたモンじゃあないぞ！」

リーダーの下、アイデアを出し合い、持ち時間内でもより多くの人に、どうしたら自らの意図することがうまく伝えられるか？

このいい実証例になったのでは……と 再確認した次第です。

さて今度は4月20日「お殿様公園」のデビューです。どんな趣向でお披露目ができるか、是非注目して下さい。

今、坊っちゃん劇場でミュージカル「龍馬」がロングラン興行中です。是非一人でも多く足を運んで、思いっきり笑ってもらい、先の見えにくい今の沈滞ムードを少しでも打破して乗り切つて行こうではありませんか！

私も早速家族で観に行く予定です。

大洲市長 大森 隆雄

おおずの女性

〜輝いて〜
Vol.40

大洲支部老人クラブ連合会女性部活動紹介

大洲支部老人クラブ連合会女性部は、約750人の会員で組織され、高齢社会の到来にあたり、知識と経験と能力を活かし、豊かな長寿社会づくりに日々努力しています。健康・友愛・奉仕の三大運動を中心に、学習、文化、伝承などの分野に活動を進めており、特に友愛活動として年間を通じ、在宅寝たきり老人・独居老人訪問活動の実施に努めています。



女性部の一年間の活動行事としては、

- (1) 年間を通じての友愛活動：独居老人や家庭介護者に温かい言葉かけをする。
- (2) 在宅寝たきり老人の友愛訪問活動【12月】：民生委員と相談のうえ行方（介護度）3〜5程度。
- (3) 美化活動【7月】：各地区での花いっぱい運動など。
- (4) 各地域ごとに小学生の登下校の見守り隊に参加する。
- (5) 女性部長会を5・12・2月の年3回実施する。
- (6) 女性部研修会【7月】：年一回、健康に関する講演または、軽い運動など健康に関する勉強をする。
- (7) 年一回、各地区ごとに高齢者向けの料理実習を行う。
- (8) 一日研修：年一回市内・(県内の)市外を交互にする。
- (9) 三世代交流研修会：年一回、1月末の土曜日に実施。婦人会・PTA・中学生・老人会が一堂に会し、もちつき、豚汁、なます、おにぎりをみんなで作り、

会食しながら交流を図る。さらに各団体および中学生の代表者による意見発表やディスプレイを行つたことにより、世代を超えた連帯感と新しい地域づくりを進める。

(10) 高齢者スポーツ大会：年一回実施。男女合同で60歳以上が参加。ボーリング、信号ゲーム、ボール送り、ゴルフ競争、玉入れなど5ゲームを競い合い、さわやかな汗をかき楽しい一日を送る。

また、平成19年には、老人健康づくり大学が大洲市総合福祉センターで11回にわたつて行なわれ、第6期生として女性も多数参加しました。今後の老人のあり方について、学んだ多くの事を日々の生活または地区活動に取り入れ、健康第一を心として無事卒業しました。

それぞれ年度計画に沿つて活動をする中で、女性としての知識を積み重ね、心身ともに高齢者に適応した諸活動を浸透させるべく、老人パワーががんばっています！

大洲支部老人クラブ連合会
会長 金家 幸子
女性部

おめでとうございます

★おめでとーございませー★
★おめでとーございませー★
★おめでとーございませー★



▲大森市長へ受賞報告に訪れた河合三郎さん（右）

スポーツに貢献した個人および団体ならびにスポーツ界で、優秀な成績を収めたものを末永く顕彰することを目的に設けられている、大亀財団スポーツ賞の第7回表彰式が3月6日(木)ダイキ㈱本社で開催され、河合三郎さん(田口)が、菜の花賞を受賞されました。今回の受賞は河合さんの長

第7回大亀財団スポーツ賞表彰式・菜の花賞受賞

河合 三郎さん

年にもわたるソフトテニスの指導や、「河合杯県下軟式庭球大会」の開催など、ソフトテニスの普及活動に尽力されたことが認められたものです。この日は受賞の報告に市長を訪ねられ、「人間関係が一番。ペアを大事にしなればなりません。まずほめることを心がけてきました。ソフトテニスには、年齢にあった運動として続けられるのが魅力です」と笑顔で話されていました。



▲梶尾善作さん

伝統的工芸品 産業功労者褒賞受賞

梶尾善作さん(高張提灯)

この賞は、伝統的工芸品などの産地において、長年にわたって技術の向上・後継者の育成指導、産地の振興に指導的役割を果たしてきた人の功績を顕彰することにより、その多年の労に報いることを目的として設けられています。この度、梶尾善作さん(大洲)が伝統的

工芸品産業功労者褒章を受賞されました。梶尾さんは、昭和7年から75年の長きにわたり提灯づくりに従事されており、高度な技術を保つものとして平成14年に「えひめ伝統工芸士」に認定されるなど、業界随一の卓越した技能をもって地場産業の振興に多大な貢献をされたことが顕彰されたものです。梶尾さんは現在も、大洲特産の竹と和紙で高張提灯を制作されています。

学生の皆さん、 学生納付特例制度をぜひ存知であが

日本国内に住むすべての人は、20歳になった時から国民年金の被保険者となり、保険料の納付が義務付けられますが、学生については、申請によって在学中の保険料の納付を猶予する「学生納付特例制度」が設けられています。

対象となる学生は、大学、短期大学、大学院、高等学校、専修学校などのほか、各種学校(1年以上の修学課程に限る。)に在学する20歳以上の学生です。また、夜間・定時制・通信課程も含まれますので、ほとんどの学生の人が対象となります。

国民年金の保険料が未納になっていると、万一、病気やケガで重い障害が残ったときに障害基礎年金が受け取れないことがあります。学生納付特例が承認された期間は障害年金の受給資格要件に含まれません。学生であつて所得が少なく保険料の納付が困難な場合は、必ず学生納付特例を申請してください。

申請書は、市の国民年金窓口にて備えてありますが、住民票を登録している市窓口にて提出してください。申請の際には基礎年金番号が確認できる書類(年金手帳など)と学生証、または在学証明書が必要となります。なお、前年の所得が一定額以上の場合、申請が承認されない場合があります。

問い合わせ先

- 市役所市民課市民第4係 ☎242111(内線111)
- 長浜支所市民福祉課 ☎521111(内線33)
- 脇川支所市民福祉課 ☎342311(内線223)
- 河辺支所市民福祉課 ☎392111(内線152)
- 松山西社会保険事務所 ☎089(925)5105

おめでとうございます



▲井上哲郎君（左）と矢野隆人君

このたび、長浜中学校の矢野隆人君と井上哲郎君が、福岡県で開催される第6回日本少年野球西日本選抜優勝大会に出場することになりました。これは、去る2月に行われた第38回日本少年野球春季大会西四国支部予選（大洲・内子球場）で、二人が所属する「松山フレンズ」が準優勝したことから、西日本各地区の16チームが参加する選抜大会への

財日本少年野球（ボーイズリーグ）中学硬式野球
長浜中の矢野君・井上君が西日本選抜優勝大会へ

出場が決まったものです。矢野君は3番ショート、井上君は1番キャッチャーで共に主将・副主将を務め、惜しくも優勝は逃したものの二人の活躍で見事準優勝に導きました。二人は、小学校から始めた硬式野球を中学でも行いたいと、中学硬式野球クラブ：松山フレンズに入団して以来、それぞれの目標に向かって、それぞれの目標に向かって練習に励み、学校生活でも、生徒会長・副会長を務めるなど、文武両道をモットーに多忙な日々を送っています。これからも、自分たちの夢の実現のため頑張ってください。



▲受賞した水口春樹さん（右）、左は前園主である父・健さん

上品な香りで、フレグランス部門最優秀賞
日本エビネ園の水口春樹園主

2月23日（土）～3月2日（日）に東京ドームで開催された、「世界らん展日本大賞2008」で、日本エビネ園の水口春樹園主（長浜町須沢）が、フレグランス（香り）審査部門で最優秀賞に輝きました。この審査は、21の国と地

域から3000種、10万株の蘭が出展され、開催期間中45万人が訪れるビックイベントの中で行われたもので、受賞したエビネ「春の輝き」は、気品ある香りが高い評価を得て、今回の受賞となりました。水口園主は、「まさか入賞するとは思わなかったが、次回は、大差をつけて受賞したい」と今後の意気込みを語っていました。

標準小作料が改訂されました

（平成20年3月3日改訂：10アール当たり）

大洲市農業委員会では、次のとおり小作料の標準額を改訂しました。

標準小作料は、農地の貸し手と借り手が、円滑に賃貸料を決めるための目安としてご利用ください。

なお、詳しくは農業委員または農業委員会事務局へお問い合わせください。

☎24-2111（内線343）

※ 標準小作料は、「小作料を統制」または「小作料の引き下げを阻止」しているものではありません。小作契約の際の目安として定めているもので、実際の契約において小作料は、自然的条件、利用上の条件などに応じて賃貸借当事者間で協議し自由に決めるものです。

農地の区分		小作料の標準額(円)	備 考
田の部	上田	17,000	生産量（水稻 480キログラム） ほ場整備完了、またはこれに準じるところで、農業用道水路などが整備された大型農機具利用可能な農地
	中田	10,000	生産量（水稻 440キログラム） 上田より規模などのやや劣るところで、小型農機具利用可能な農地
	下田	3,000	生産量（水稻 360キログラム） 上田、中田以外のところで、小型農機具利用可能な農地
畑の部	上畑	18,000	比較算出 平坦地域のほ場整備完了、またはこれに準じるところで、農業用道水路などが整備された大型農機具利用可能な農地
	中畑	11,000	比較算出 ほ場整備完了、またはこれに準じる既存のもので、小型農機具利用可能な農地
	下畑	3,000	比較算出 上畑、中畑以外のところで、小型農機具利用可能な農地
樹園地の部		9,000	生産量 温州みかん 2,600キログラム 安定期（21～30年生）の樹園地

まちのわだい



▲整備されたお殿様公園に植樹するメンバーら

3 / 4
(火)

絆のしだれ桜

～青年会議所がしだれ桜を記念植樹～

大洲青年会議所が2007年度四国地区フォーラム大洲大会を、昨年7月に開催したことを記念して、このほど市が整備した「お殿様公園」(大洲)に、メンバーら15人が、高さ4.5メートルのしだれ桜を植樹しました。フォーラムのスローガンが「絆で創る四国の心! OMOIYARIの心が、人を、まちを、未来を変える!」であったことから同会議所は、この桜を「絆のしだれ桜」と命名。太田一郎理事長は、「この桜が町づくり、人づくりの象徴となり、これからここに集う人たちの絆を育てていくことを願っています」とあいさつ。

メンバーらは、桜の木の成長を願いながらいねいに土をかけていました。



▲ポニーと一緒にハイ・ポーズ

3 / 12
(水)

たくさんの思い出を

～お別れ遠足～

春が一足早く来たようなポカポカ陽気のこの日、肱川保育所のお別れ遠足があり、肱川町予子林にあるライディングクラブフォーレストで乗馬を体験しました。ポニーに乗馬すると聞いていたので子どもの背丈ほどかと想像していたら、大人の背丈ほどある大きなポニーが出てきてびっくり。

恐る恐るポニーに近づいて触ったり、怖くて泣き出す子どもがいたりしましたが、一人ひとり馬の背中に乗せてもらうと、次第に怖くなくなったようでとても喜んでいました。

最後に馬と一緒に記念撮影をして、近くの広場でお待ちかねのお弁当をほお張っていました。

3 / 13
(木)

心をこめて

～民生委員給食サービス～

この日、河辺地区民生委員協議会(地区民協)の委員が、月1回の給食サービスに合わせて、おはぎを作り配布しました。

これは市と河辺地区の各社会福祉協議会による地域ふれあい事業の一つで、希望される独居世帯の高齢者を対象に、毎月お弁当を届けているものです。

委員らは、高齢者のために何か出来ることはないかということで2年前から年1回のおはぎの配布を始め、今回で3回目を迎えました。

訪問時には、「いつもありがとう」、「だいぶ、暖かくなったね」などと話が弾んでいました。



▲心をこめておはぎを丸める民生委員ら

まちのわだい

3 / 15
(土)

文化財保存に向けて

～史談会がボランティア清掃～



▲座敷の障子を貼りかえる参加者ら

大洲・長浜史談会員や一般住民ら36人が参加して、国登録有形文化財「末永家住宅百帖座敷」(長浜)のボランティア清掃が行なわれました。

この百帖座敷は昭和2年に建てられたもので、18畳が2部屋と5畳の「次の間」があり、座敷は折上げ格天井で施され、当時は接客施設として使用されていました。

この建物は長い間使用されていなかったため、当日は畳をあげてほこりをはらい、障子を貼りかえるなど、額に汗して貴重な文化財の保存活動が行なわれました。参加者らは、見違えるようにきれいになった座敷や庭を見渡し、隆盛を極めた往時をしのんでいました。

3 / 17
(土)

役割と活動を深めよう

～民生児童委員出前講座～



▲受講する民生児童委員

地域福祉の第一線で活動している民生児童委員の役割と活動について理解を深めようと、長浜地区の民生児童委員協議会が出前講座を開催しました。この日は、市役所高齢福祉課の職員を講師に招き、障害者福祉が施設から地域へと移行する中、支援が必要な人たちの自立支援をどのように進めるかをテーマとして行われました。白石係長は、いろいろな障害者へのサービスを紹介したほか、先日行われた地域の障害者に関する民生児童委員へのアンケート調査の結果も報告。その中で、障害者の人たちの地域住民と関わりながら暮らしたいということが見えてきた。今後は、地域住民と各機関のネットワークの充実がより一層重要であることを訴えていました。委員らは、講演後、今後の活動に役立てようと活発な意見交換も行っていました。

4 / 6
(日)

桜のしたで……

～上須戒さくらまつり～



▲演奏を披露する大洲農業高校吹奏楽部

上須戒ふれあい広場(旧大洲市少年自然の家)で、「上須戒さくらまつり」(主催 上須戒地域振興協議会)が開催されました。約200本のソメイヨシノはこの日が満開!桜の花びらが風に舞う絶好のお花見日和の中、たくさんの家族連れらで賑わいました。

5回目を数える今回のさくらまつりでは、地元農産物や揚げたてのじゃこてん、つきたてのお餅など各種バザーが用意されたほか、大洲農業高校の吹奏楽部が『宝島』を皮切りにアンコールを含め6曲を振付や歌を交えて披露し、会場を盛り上げました。

また、マイバック・マイ箸の利用を呼びかけ、無料で竹の箸づくりができるスペースがもうけられるなど環境問題に配慮したイベント運営がなされました。箸づくりのスペースでは、子どもから大人まで夢中で竹を削る姿が見られました。